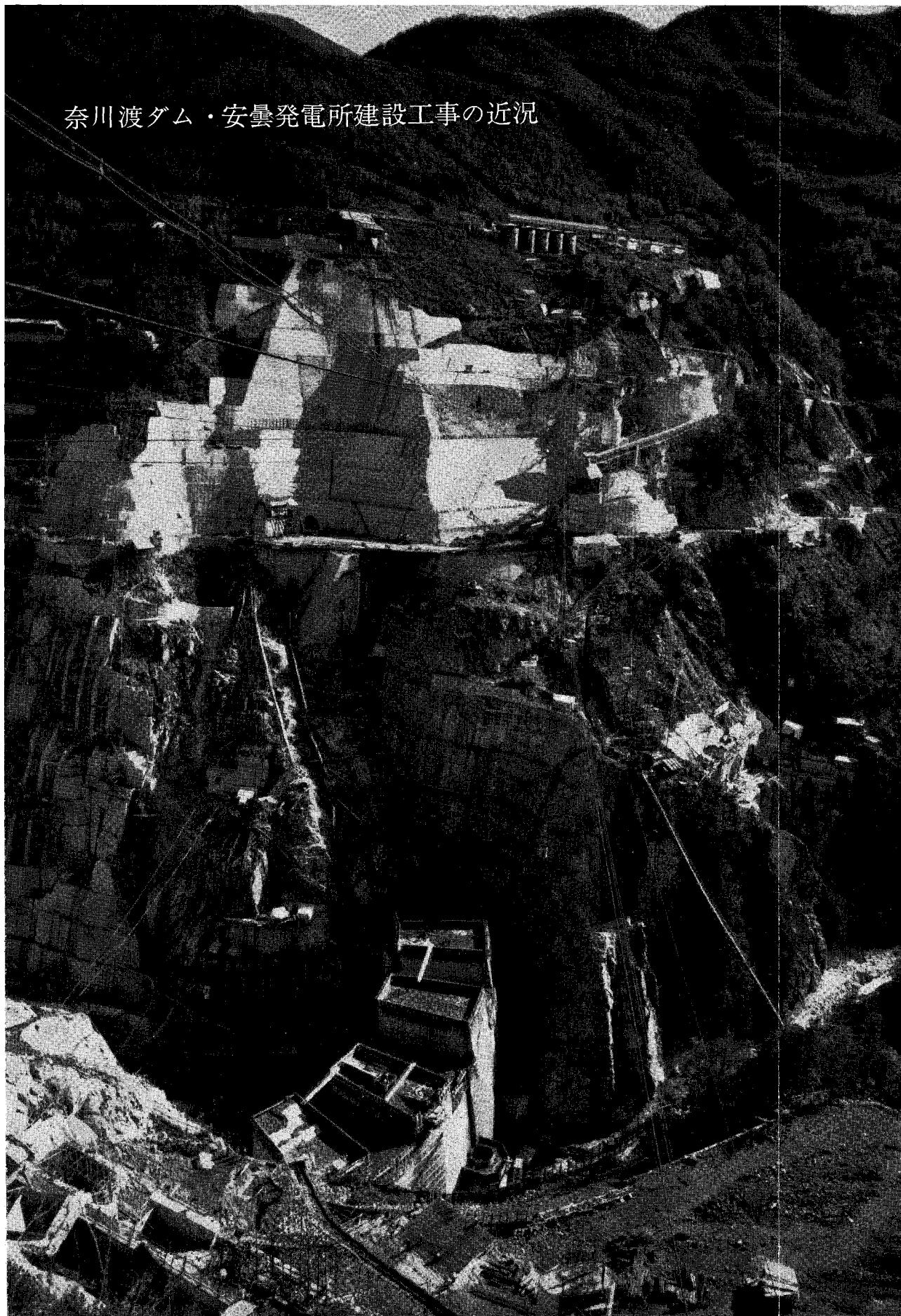
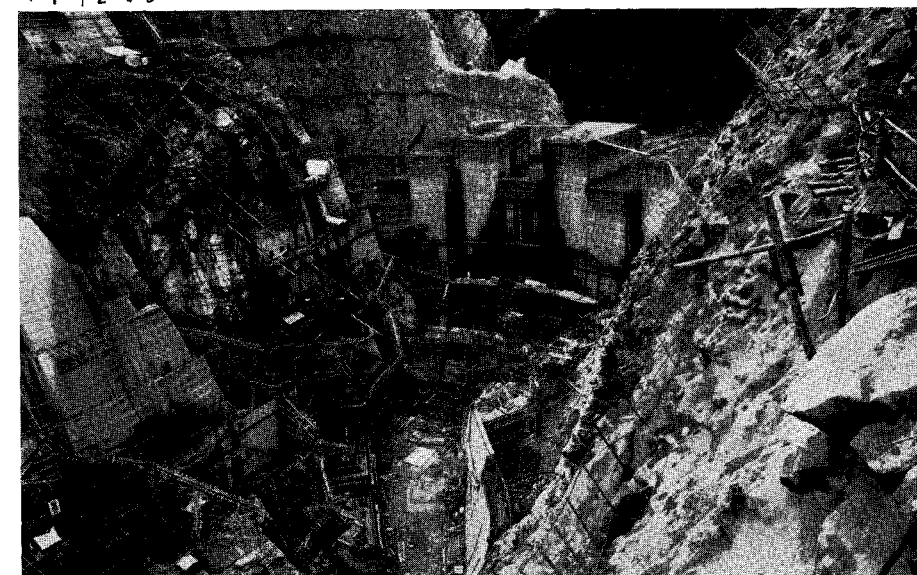


奈川渡ダム・安曇発電所建設工事の近況



←1 ↑2 ↓3



長野県南安曇郡安曇村(左岸)と同奈川村(右岸)地点に建設中の奈川渡ダムは、昭和43年12月完成を目標に鋭意工事がすすめられている。同ダムは、高さ155m(現在高75m)、堤頂幅10m、敷幅35m、堤体積672,000m³の巨大なダムで、同所に併設される発電所により623,000kWの電力を生むこととなる。発電所関係では、昭和44年6月にダム直下の発電専用機(1,2号機・211,000kW)の運転を開始、揚水兼用機3~6号機(412,000kW)は、5,6号(206,000kW)を昭和45年11月、3,4号(206,000kW)を昭和45年11月にそれぞれ運転を開始する予定である。写真一は工事現場全景、写真二は上流側のダム近景、写真三は、ダムの背面およびダム直下の1,2号機発電所放水庭で、左下の方は3~6号の揚水兼用発電所を建設しているところである。

内容・主旨紹介

今月号の登載記事の要旨を記してあります。切り取ってパンチカードにはりつけて整理に供して下さい。

特集・土木界の動向をさぐる／総合と分化の観点から／土木学会誌編集委員会

土木学会誌第53巻第1号, pp. 11~69, 昭和43年1月 (January 1968)

科学・技術の進展は、必然的に専門の分化を招来する。時代とともに分化を重ねる各分野にあっては、結果的に総合への道は時代の要求であり、両者の間の均衡こそ明日への発展の礎石となるものと考えられる。本特集はこの間の事情に鑑み編集したもので、早急に結論を出すことを意図せず、物事に考える糸口を与えることを目的とした。特集の構成はつぎのとおりである。すなわち、米谷・藤井・末松の「われわれにとって土木技術とは何か」を最初におき、ついで誌上シンポジウム「土木界における“総合と分化”」、藤井(正)の「土木・建築技術にみる分化、分裂と総合化——その歴史的展望」、金関の「歴史からみた分化と総合の基盤——土木学会を創設した巨人の識見と遺業——」と続き、終りに佐藤の懸賞論文第1席入選作「専門の分化と総合」を収め特集とした。

第1回土木計画学シンポジウムテキスト } 頒布ご案内 第2回土木計画学シンポジウムテキスト }

昭和42年1月31日大和証券ホールで開催されました第1回土木計画学シンポジウムのテキストは、発刊と同時に売切れとなり大変ご迷惑をおかけしておりましたが、今般僅少ではありますが再版の運びとなりましたので、下記要領で頒布致します。続いて同年11月21, 22の両日銀座ガスホールで開催されました第2回土木計画学シンポジウムのテキストもあわせ発売致しますので、ご希望の方は、至急お申込み下さいますようお願い申し上げます。

第1回土木計画学シンポジウムテキスト

B5判・133ページ
定価 700円(〒70円)
残部約 230部

委員長あいさつ
総論
土木計画と土木技術
土木計画と公共投資
土木計画と土木技術へのコメント

土木計画手法に関連して
土木計画とオペレーションズリサーチ
計画基礎教養
土木計画手法への反省
施工管理計画
土木計画手法に関連して

総合計画に関連して
国土、地域計画
土木計画と都市計画
地域に関連する計画における土木計画

総合開発と社会開発に関連して
土木計画のあり方と基礎理念—水資源計画部門—

防災計画
環境衛生計画—公害を中心として—
観光計画論から土木計画論へ
産業開発と社会開発に関連して

交通計画に関連して
地域計画と交通
起終点施設計画と土木計画
大都市問題と交通計画
都市鉄道計画の基礎理念
交通施設投資の計画体系について
交通計画に関連して

鈴木雅次
八十島義之助
加納治郎
米谷栄二

吉川和広
佐佐木綱
五十嵐日出夫
佐用泰司
渡辺新三

川北米良
秀島敏彦
井上孝

西川喬
石原安雄
山本剛夫
鈴木忠義
高橋裕

内田一郎
長尾義三
毛利正光
多谷虎男
天野光三
小川博三

第2回土木計画学シンポジウムテキスト

B5判・120ページ
定価 700円(〒70円)
残部約 570部

第1回土木計画学シンポジウムにおける土木計画のあり方と基礎理念に関するまとめ 米谷栄二

第I部 水資源計画
水需要量の予測と計画決定の合目的性 佐々木和彦
河川の総合的開発利用計画 北野章

第II部 交通計画
コンゴ—共和国の鉱山品輸出増強計画 立花文勝
道路計画 星野哲三
港湾における計画目標の設定と標値の基準 長尾義三
都市交通計画 新谷洋二
地域と交通 加藤晃

第III部 都市計画・地域計画
理論都市・地域計画への試み 毛利正光
地域計画に関する一考察 大塚友則
都市計画・地域計画 渡部与四郎

第IV部 土木計画の目的に関する総括討論
第V部 総括討論のまとめ

土木学会出版案内

編著者名	図 書 名	判型	ページ 数	定 価	備 考
土木学会編	新潟地震震害調査報告	B 5	904	10 000	
同	建設/創造/技術(写真集)	A 4	280	3 800	彰国社刊
同	土木年鑑・1967	B 5	484	3 500	鹿島出版刊
同	土質実験指導書	B 5	65	320	データシート 26 枚
同	土木材料実験指導書	B 5	140	460	データシート 56 枚
同	水理実験指導書	B 5	38	250	データシート 21 枚
同	水理公式集	A 5	603	1 400	
同	土木製図基準	A 4	170	1 300	折込 20 葉色刷4葉
同	土木技術者のための 振 動 便 覧	A 5	450	2 400	
同	土木技術者のための 岩 盤 力 学	B 5	489	3 600	
同	第 4 回 海 岸 工 学 講 演 集	B 5	244	300	オフセット
同	第 6 回 海 岸 工 学 講 演 集	B 5	150	400	
同	第 9 回 海 岸 工 学 講 演 集	B 5	162	1 000	
同	第 10 回 海 岸 工 学 講 演 集	B 5	184	1 200	
同	第 11 回 海 岸 工 学 講 演 集	B 5	286	1 500	
同	第 12 回 海 岸 工 学 講 演 集	B 5	257	1 500	
同	第 13 回 海 岸 工 学 講 演 集	B 5	319	2 200	
同	Coastal Eng. in Japan Vol 1	B 5	147	250	
	Vol 2	B 5	122	300	
	Vol 3	B 5	125	500	
	Vol 4	B 5	122	700	
	Vol 5	B 5	160	1 200	
	Vol 6	B 5	131	1 000	
	Vol 7	B 5	147	1 200	
	Vol 8	B 5	151	1 200	
	Vol 9	B 5	171	1 500	

●待望の年鑑いよいよ完成——好評発売中／鹿島出版会発行

土木年鑑

1968

土木学会土木年鑑編集委員会編集・定価 3500 円／送料学会負担

■土木建設界のすべてを系統的に鳥瞰できるわが国唯一の年鑑!!

本年鑑の5大特色

①広い視野に立った編集方針

単に土木分野全般の記述だけでなく、経済・法制・財政・企業計画・他産業との関連などを捉え、総合的な展望をも行なった編集

②斯界の権威を網羅した編集・執筆陣

土木学会がその総力を結集し、斬新緻密な構成にもとづいた各専門分野の権威による執筆

③豊富な内容，系統だった分類

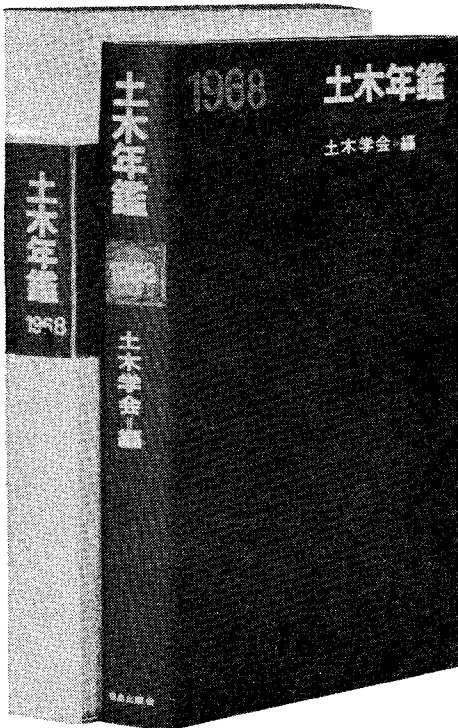
各部門ごとにあらゆる事象を網羅し、精密な統計および図表を付し、詳しい解説を行なった、土木界のすべてを通覧できる唯一の年鑑

④見て楽しめるビジュアルな年鑑

新鮮な口絵写真，わかりやすい図版および解説写真を豊富に使用し，視覚的な面にも留意した編集

⑤美麗・堅牢な造本と鮮明な印刷

頻繁な使用，永年の保存にも耐えられる，厳選された資材・印刷・製本



■体裁

B5判上製函入／特織クローズ装丁／口絵写真20余枚・本文中写真200余枚／本文8ポ新鑄活字使用・約500頁／写真・図版・統計表多数／アート紙および真珠アルトン紙使用

■土木年鑑編集委員会委員名簿

委員長	八十島義之助	副委員長	片山 祐一						
主査委員	内山 謙	竹内 良夫	玉村 栄二	森 茂					
委員	阿部 泰彦	粟津 清蔵	岩永 三樹男	大迫 公克	大橋 文雄	川村 光雄	京坂 元宇		
	久保 赳	杉田 栄司	高野 宗司	多田 安夫	竹間 弘	豊田 栄一	林 鋼太郎		
	樋口 芳朗	日吉 三友	藤井 喬	藤田 圭一	藤吉 三郎	増岡 康治	松本 繁樹		
	村山 幸雄	森 宜制	山下 博通	山田 俊英	山本 安一	横山 浩雄			
幹事	市川 芳忠	宇津橋 昭八郎	成瀬 輝男	南部 特一	本山 蒔				

●土木建設界のすべてを系統的に鳥瞰できるわが国唯一の年鑑!!

■本年鑑の構成

口絵写真

本年度における代表的な土木事業27件の写真集

論 説

“曲り角に來た建設事業”——建設技監 尾之内由紀夫

本年度までの経過の分析から明日のあるべき姿の概要を記述

展 望

1. 社会の動き
2. 経済発展計画における土木事業
3. 行政と事業
4. 建設産業の動向
5. 研究および技術水準
6. 教育および技術
7. 海外事業

工学技術および関連資料

1. 長期計画
2. 研究と技術
3. 特許・実用新案
4. 主要報告書・論文目録
5. 関連学界の動向

事 業

本年度における主要土木事業を写真・図面・諸元に解説を付して紹介

国土計画・地域計画／道路／鉄道／都市計画・土地造成／上下水道・工業用水道・水資源／治水・治山・海岸／港湾・漁港・航路標識／空港／発電施設／土地改良・干拓／防衛施設／観光・レクリエーション施設／工場施設／建築／災害復旧／海外事業／諸調査

資 料

建設事業における基本統計・資料を網羅

国土・人口／建設事業量／治水・治山・海岸／道路／鉄道／港湾・漁港／都市計画／上水道・工業用水道・下水道／災害・災害復旧／コンサルタント・測量／建設業／建設機械／建設労務／建設資材／工事価格・土地価格／一般経済／新法令解説

付 1. 国の土木系機関一覧(新設) 2. 全国土木系大学所在および教官一覧 3. 全国都道府県別主要土木事業一覧図——各事業の42年度予算と事業概要(新設)

-----切 取 り 線-----

申 込 書

東京都新宿区四谷1丁目

社団法人 土木学会刊行物頒布係行

電話 351-5130 (直通), 振替口座 東京 16828 番

■申込者名

校名または会社名

所 在 地

担 当 者 職 名

担 当 者 氏 名

Ⓜ

書 名	部 数	送 料	合 計
土木年鑑 1968年版 定価3 500円	部	本票使用分のみ 学 会 負 担	円

上記のとおり代金を添えて申込致します。

昭和 年 月 日

注: 御送金のときは本申込書を同封願います。

手続上, 前金が無理の場合には, 請求書類の御必要枚数を御記入の上, 学会まで御申込下さい。現品に書類を添えて御送り致します。